

公益社団法人長野県介護福祉士会

基本理念

私たち介護福祉士は、自己決定を最大限尊重し、人間の尊厳の保持を旨とする介護サービスを提供します。また、すべての人々が住み慣れた地域において安心して暮らし続けることができる社会の実現を目指します。

そして、介護福祉士の一人ひとりが、日々やりがいを感じ、安心して働ける介護業界となるようその使命を担って行きます。

目的（公益法人長野県介護福祉士会が目指すもの）

1. 介護に従事する者を支える職能団体となる
2. 介護の質の向上のための研修を実践する
3. 地域の中での介護福祉士の活動を推進する
4. 会員の拡大を図る

令和6年度 事業計画

主旨

少子高齢化である現在、介護福祉士を取り巻く環境は介護人材不足及び育成不足という大きな課題を抱えています。その環境の中で、介護福祉士が介護チームのリーダーとしての役割を担っています。これからも、介護福祉士の職業倫理の向上と、介護の専門性と資質の向上、専門職としてのキャリアを積むための研修を実践していく事が求められています。

さらに、地域包括ケアの実践者として、地域での活動を各団体や養成校と連携していくこと、介護福祉士のPR活動を行ない、介護福祉士の知名度を上げていく必要があります。「学ぶ」「繋がり」「魅せる」を実行し、介護福祉士を元気に、そして笑顔で明るく前向きに仕事ができるような活動をしていきます。

重点目標

1. 介護現場のリーダーを育成します。（学ぶ）
2. 各団体や養成校と連携し、組織率の向上に努めます。（繋がり）
3. 介護に携わる者の情報交換の場や仲間で集う場を作ります。（繋がり）
4. 広報を通して介護の魅力発信をします。（魅せる）
5. 認定介護福祉士を育成して県内の福祉の発展に寄与します。（学ぶ・繋がり）

1. 事業内容

(1) 組織強化

- ①入会率向上を図ります。(目標：新規入会 100 名)
- ②支部・ブロックの活動を活発にして、繋がりをつくります。(研修の充実)
- ③広報紙や、ホームページ、フェイスブック等を活用して情報提供を行っていきます。
- ④介護カフェ・ワークショップ等で、会員、非会員を含めた対話の場を作り繋がりを広げます。また養成校も含めた談話の場をつくります。
- ⑤各委員会活動の充実、活性化を図ります。
- ⑥会員への情報発信、受信がよりスムーズにできるよう継続検討します。
- ⑦意識調査から、現状や改善点を把握することで組織強化、資質向上につなげていきます。

(2) 資質向上を図り専門性を確立するための支援

- ①生涯研修体系に基づく研修、キャリアパス対応研修を実施します。
- ②チームケア実践に対応できるリーダー育成に取り組みます。
- ③会員の論文研究を支援し、介護福祉士の専門性を可視化していきます。
- ④障がいの特性に合わせた生活支援、倫理についての勉強会を行います。
- ⑤訪問介護事業所でのサービス提供責任者の業務を振り返りと今後の業務の意欲向上を目的に、サ責部会の活動を展開していきます。
- ⑥介護現場の業務の効率化を考える研修を行います。

(3) 災害支援のための取り組み

- ①長野県災害福祉ネットワーク構成団体と連携、協働し災害支援を行います。
- ②大規模災害時や災害に備え近隣都道府県介護福祉士会と連携、協力します。
- ③発災時に迅速な対応（被災者支援のための会員派遣や他都道府県からの受入れ）ができるように、平常時から会の派遣体制を整備します。(活動員の育成)
- ④災害支援マニュアルを見直して完成させ、浸透させます。
- ⑤避難所開設時の初動時に必要な備品を整備します。

(4) 介護福祉士の役割を担い地域包括ケア・共生社会の構築を推進

- ①地域包括ケアを推進していく専門職として、介護福祉士の役割を理解し実践力を高めるための研修を実施します。
- ②医療、看護等、多職種連携協働を図ります。
- ③地域包括ケア、地域共生社会、多職種連携等の研修情報を提供し、参加

機会を広げます。

④養成校と地域との連携を継続させます。(介護の質を高める会等)

(5) 介護福祉の普及啓発

①福祉の理解と地域の介護力向上を目的に、公開セミナーを開催します。

②「介護の日」に合わせ関係団体と連携し「介護技術コンテスト」などのイベントに取り組みます。

③介護福祉士養成施設との交流や連携を図り、介護福祉士を目指す学生を会の研修に招待します。(ファーストステップのフォロー研修)

④長野県内の小学生・中学生を対象として、「介護」についての理解促進と「介護職」についての正しい情報提供と魅力を伝え、将来の職業の選択肢に繋げることを目的とした講座「介護プチ講座」の開催、高校・専門学校・大学を訪問し「福祉・介護の出前授業」を検討します。

⑤介護職を目指す人を対象に「介護への道」のパンフレットを作成し、学校やハローワークなどに配布します。

⑥長野県介護福祉士会のパンフレットをリニューアルし、組織強化活動や普及啓発に利用します。

(6) 介護福祉人材確保・定着のための取り組み

①介護福祉士同士の連携強化、後進育成、離職防止等を目的として同じ介護の道を志す仲間が集う場所である「青年部」を発足します。

②意識調査、現状や改善点を把握することで人材確保に繋がります。

(7) 行政機関や各種関係団体が開催する検討会等に参画し、介護福祉士会としての意見を発信します。

(8) 将来の公益目的事業のための資産である特定資産の使用目的について引き続き検討していきます。

(9) 離職防止と再就職促進

①潜在介護福祉士に向けて再就職の呼びかけと育成をします。

②離職防止を目的に、介護職員の心の声を受けとめる「相談窓口」を設置し公開します。

(10) 調査研究活動

①介護福祉に関する調査研究事業（日本介護福祉士会の行う調査研究事業の協力も含む）

②論文研究事業（年6回）

(11) その他

①長野県介護福祉士会の定款等の見直しをしていきます。

②公益社団法人としての運営を再確認します。

2.委員会活動

(1) 運営委員会

目的:介護福祉士会の本会と支部との情報共有と連携をとり、運営委員による協議検討、実践を行うことで事業運営を円滑に行うことを目的とする。

項 目	日 時	場 所	備 考
運営委員会	令和 6 年 5 月 11 日(土) 13:00~15:30	堀金公民館	新旧
	7 月 12 日(金) 9:30~12:00	オンライン	
	9 月 21 日(土) 9:30~12:00	なんなん広場	
	11 月 22 日(金) 13:00~15:30	なんなん広場	
	令和 7 年 1 月 10 日(金) 9:30~12:00	オンライン	
	3 月 8 日 (土) 13:00~15:30	なんなん広場	
	5 月 9 日 (金) 13:00~15:30	なんなん広場	新旧

※日時、場所の変更がある場合があります。

(2)地域福祉委員会

目的:経験豊富な方々の力を借りながら、研修などを通して潜在介護福祉士の職場復帰を促すことを目的とした活動を関係団体と連携し推進していきます。

また、シニア世代の交流や活躍に場を広げていきます。

目 的	項 目	日 時	場 所
潜在介護福祉士の復帰事業	潜 在 介 護 福 祉 士 研 修 会	令和 6 年 12 月	松本短期大学予定
交流を深める場づくり	交流会	検討中	検討中
	研修旅行	令和 6 年	湧子園への視察旅行を検討中

(3)災害対策検討委員会

目的:介護福祉士として災害対策においても他団体、多職種と連携し、長野県外の災害時に災害ボランティアを派遣し、その専門性を活かした救助及び支援活動が迅速にできる体制を整えることを目的とする。

目 的	内 容
災害救護活動マニュアルへの取り組み	災害支援活動マニュアルを会員へ周知する 手順書の見直し 備品の整備
災害ボランティア活動員を定着させる活動	災害ボランティア活動員の更新 登録者名簿の作成
災害救援活動ボランティアの育成	災害ボランティア基礎研修 長野県災害福祉ネットワーク研修会に参加 能登半島地震災害ボランティア活動報告(6 月 15 日)

(4)組織委員会

目的：長野県介護福祉士会の役割を広く発信して、共に介護業界全体の魅力を高めるべく活動を行います。主に組織率の強化と会員同士の連帯力アップを目途とします。

※組織委員会 概ね年2～3回の会議開催 およびSlackやLINEによる情報の共有

目 的	内 容
会員増強への取り組み	① 垣根を超えたボーダーレスな入会案内と告知活動 ・SNSなどオンラインプラットフォームを通じた組織活動 ・介護関連の諸団体との連携 ・介護事業者・各法人向けの入会促進活動 ・会員および一般向けの介護イベントやセミナーの開催 ・入会キャンペーンの企画、オリジナル名刺の作成 ・入会促進のための資料の開発と作成 (会案内パンフレットや「介護への道」など)
	② 養成校との連携 ・未来の介護福祉士たちへの業界団体の役割周知と入会促進 ・養成校との連携による介護業界の啓蒙活動 ・介護福祉士国家試験を受ける受験生を応援する活動
	③ 日本介護福祉士会、および他県介護福祉士会との連携 ・主に会員増強に関わる活動の情報共有 ・全国ネットワークを活用した一斉活動による告知力アップ
会員同士の連帯力アップおよび退会予防の取り組み	① 退会予防の具体的取り組み ・介護の困りごと解決へのサポート ・離職や退職の予防のための相談窓口整備 ・会員・非会員向けの労務問題解決へのサポート ・介護業界における他組織との情報共有と連携
	② 会員相互の交流の促進 ・青年部活動の支援(イベント、研修、名刺作成スキーム) ・介護カフェの企画・支援 ・講習会、研修会等の情報発信(広報・研修委員会との連携)
	③ 組織化に関わる会員意識の調査・分析 ・オンラインアンケートの実施 ・長野県介護福祉士会のブランディング作業
	④ 他委員会との連携 ・委員会活動の情報共有、情報交換 →地域福祉委員会と共同で世代を超えた会員の交流

(5)研修委員会

目的:介護福祉士の資質の向上や介護に関する知識・技術の普及を目指した研修の企画と分析を目的とします
※研修委員会 年3回 研修の運営、企画について討議

目 的	内 容
資質の向上や介護に関する 知識・技術の普及 研修の企画および分析	① 研修の運営補助 ・本会研修の設営・受付・片付けの他、受講生のサポート ・支部研修・ブロック研修の企画とサポート
	② オンライン研修の技術向上 ・研修委員がZoomホストの役割を理解するために学習会を開催する
	③ 本会研修と全県支部ブロック研修の把握 ・講師・研修内容・会場のリストを作成し、情報共有する ・研修中の写真、受講生の感想などを支部・ブロック間で情報共有し、質の向上を図る
	④ 研修会終了後のアンケート実施と集計 ・アンケート結果を踏まえ、会員のニーズに応じた研修の企画を行う ・支部及びブロック開催の研修の充実を図る
	⑤ 他委員会との連携 ・新規会員勧誘活動 →組織委員会と連携を図り、研修時に介護福祉士会入会案内を実施する ・研修の周知 →広報委員会と連携を図り、研修の告知等を広報していく

①専門部会研修等

研修名等	期 日	会 場	内 容
認定介護福祉士実践発表	未定	未定	認定介護福祉士として地域に向けた活動等実践報告を行う

②各種研修

研修名	期 日	会 場	内 容
認定介護福祉士 養成研修	R6 年 4 月～ R7 年 3 月 (42 日中の 20 日間)	JA 長野県ビル 及び Zoom	認定介護福祉士としての役割や使命を果たすために必要な知識・技術を獲得し、実践力を身に着けた介護福祉士を養成する
ファーストステップ 研修	前半 4 月～7 月 (後半 10 月か ら)	JA 長野県ビル	小規模チームのリーダーや初任者の指導係として期待できる者、また現場における的確な判断、対人理解に基づく尊厳を支えるケアの実践ができる指導的職員を養成する
介護福祉士 基本研修	8 月～10 月 (4 日間)	JA 長野県ビル	根拠に基づいた介護を実践するために、求められる介護福祉士像、生活支援としての介護の視点、自立支援の考え方、求められる知識と技術、介護過程の基本的理解、介護過程の展開の実際を学ぶ

リスクマネジメント 研修	5 月、7 月	JA 長野県ビル	介護現場におけるリスクマネジメントに焦点を当て、その目的と持つべき視点、体制整備に必要なツール類の作成と周知及び適切な運用方法の習得を目的とし、事故報告書もとにした事故要因分析の実施、適切な記録方法の習得、再発防止策の構築を学ぶ
サービス提供 責任者研修	5 月～9 月 (6 日間)	JA 長野県ビル	介護保険法と訪問介護、訪問介護計画、手順書の作成及び記録、他職種との連携及びコミュニケーション、事業所内で部下を指導教育する方法、サービス提供責任者に必要な医療知識や緊急時対応等を学ぶ
介護福祉士実習 指導者研修	9 月～11 月 (4 日間)	JA 長野県ビル	介護の基本・実習指導の理論と実際・介護過程の理論と指導・スーパービジョンの意義と活用・実習指導の方法と展開・実習指導における課題への対応・指導者への期待
倫理的ケア実践に 向けた研修	4 月、7 月、10 月、1 月	Zoom	介護場面での悩みや困っていることについて、問題解決のための知識と考え方を学び、倫理的感性を高め、現場で実践した対応方法の経過や結果を仲間と共有する
看取り研修	1 月	JA 長野県ビル	人生の最終章をその人らしく支えるために、終末期の身体の状態を理解し、利用者・家族等との関わり方、他職種との連携について学ぶ
ICT	10 月	JA 長野県ビル	介護ロボットの導入・活用によって利用者の生活の維持・向上、また生産性の向上や職員の負担軽減を図ることとともに、AIとロボット技術を駆使した介護の意義を考える
生活支援技術 講習会 (指導者養成)	1 日間	松本短期大学	生活支援技術の講師として、統一した基本技術の確認と、状況に合わせた技術が提供できるよう学ぶ
拘縮予防・ 改善のための 介護技術	1 日間	未定	拘縮のメカニズムを正しく理解・評価し、適切なポジショニングをとることが予防に繋がり、利用者の苦痛緩和となることの基礎知識を学ぶ
リーダー研修	11 月	JA 長野県ビル	利用者により良いケアを提供するとともに、介護スタッフが協働しあって「チーム」としてケアを行うためのケアの助言・指導を行うことができる能力とその技術を学ぶ
障がい者の理解と 関わり方研修	1 日間	未定	共生社会の中でともにある考え方を養うために、障がいのある方の理解を深め、より良い関係づくりを築いていくために基本的な視点を学ぶ

(6) 広報委員会

目的:ケアワーク信濃やホームページ、フェイスブックを活用し、会の目的や日頃の活動、介護に関する情報等を効果的に発信します。

※編集委員会 年6回（ホームページ担当者会議 年2回）

目 的	内 容
会員意識の向上に資する啓発、広報活動	① 会報「care work しなの」発行（年5回6.8.10.12.3月に発行） ・最新の介護情報の発信 ・本会及び支部、ブロックからの活動報告 ・会員相互の交流、活動状況、新会員の紹介 ・意識向上のための情報発信、講習会研修会等の広報 ・取材報告やアンケートによる会員の意見、ニーズ報告
	② ホームページの活用 ・本会及び支部、ブロックからの情報発信
	③ 他委員会との連携 ・委員会活動の情報共有、情報交換 ・組織委員会と「介護への道(仮称)」共同制作
会員への情報伝達や会員拡大への広報活動	① 会報「care work しなの」の発行 ・本会及び支部、ブロックからの活動報告 ・意識向上のための情報発信、講習会研修会等の広報 ・会員相互の交流、会員の活動状況、新会員の紹介 ・取材報告やアンケートによる会員の意見、ニーズ報告 ・最新の介護情報の発信 【会報発行】 6月 care work しなの 174号発行 定時社員総会資料と共に 8月 care work しなの 175号発行 10月 care work しなの 176号発行 12月 care work しなの 177号発行 3月 care work しなの 178号発行 ② ホームページ及びfacebook・会員勧誘DVDの活用 ・講習会、研修会等の広報 ・入会案内 ・情報公開 ・介護福祉士会の活動状況発信 ③ 会員への情報発信と受信方法の検討 ④ 他委員会との連携 ・委員会活動の情報共有、情報交換

3.委託研修及び講師派遣事業

項 目	期 日	主 催	内 容
介護職種技能実習指導員講習会	1 回	日本介護福祉士会	介護現場で技能実習生の指導に当たることになる技能実習指導員等を対象とした講習
全国一斉模試試験	1回	日本介護福祉士会	介護福祉士の国家試験対策のための全国一斉模試試験の実施
長野県外国人介護人材受け入れ支援事業集合研修	2月・3月 (3回)	長野県健康福祉部介護支援課	外国人介護人材が介護現場において円滑に就労・定着できるよう知識の習得と研修を通して交流する
キャリア形成訪問指導事業	5月～2月	長野県健康福祉部介護支援課	プログラムの一覧にある研修を事業所訪問して実施し、介護従事者のキャリアアップを支援する
社会福祉施設アドバイザー相談・派遣等事業	5月～3月	長野県社協福祉人材センター	安定的な施設経営及び、質の高いサービスの提供をするため、専門的な知識と豊富な経験を持つアドバイザーによる相談・派遣を実施する
広域連合介護認定審査会	通年	各広域連合	介護認定審査二次判定を通し、多職種と専門的な知見から判定をすることで、会員の資質向上を目指す
外国人介護人材のための介護福祉士資格取得支援事業	9 月～12 月 (5 回)	日本介護福祉士会	外国人介護人材向けに国試に向けた学習に特化した支援をおこない、体系的な学習パッケージを構築する。また、外国人介護人材同士のネットワークづくりに寄与できる場を提供する

○その他

- ・5 月 25 日(土) 日本介護福祉士会総会・代議員会 (東京都、オンライン)
- ・6 月 15 日(土) 定期社員総会(佐久大学)
- ・10 月 19 日(土) 公開セミナー (長野グランドシネマズ:予定)
- ・8 月 24 日(土) 日本介護福祉士会 30 周年記念大会(東京都)
- ・11 月 15 日(金)、16 日(土) 日本介護福祉士会全国大会・日本介護学会(島根県)